

平成20年度予算見積資料



高知県教育委員会

平成20年度教育委員会予算見積総括表

一般会計

平成20年度予算見積額	8,713,784 千円
平成19年度当初予算額	8,272,687 千円
差引増減額	441,097 千円
対前年度比率	105.3 %

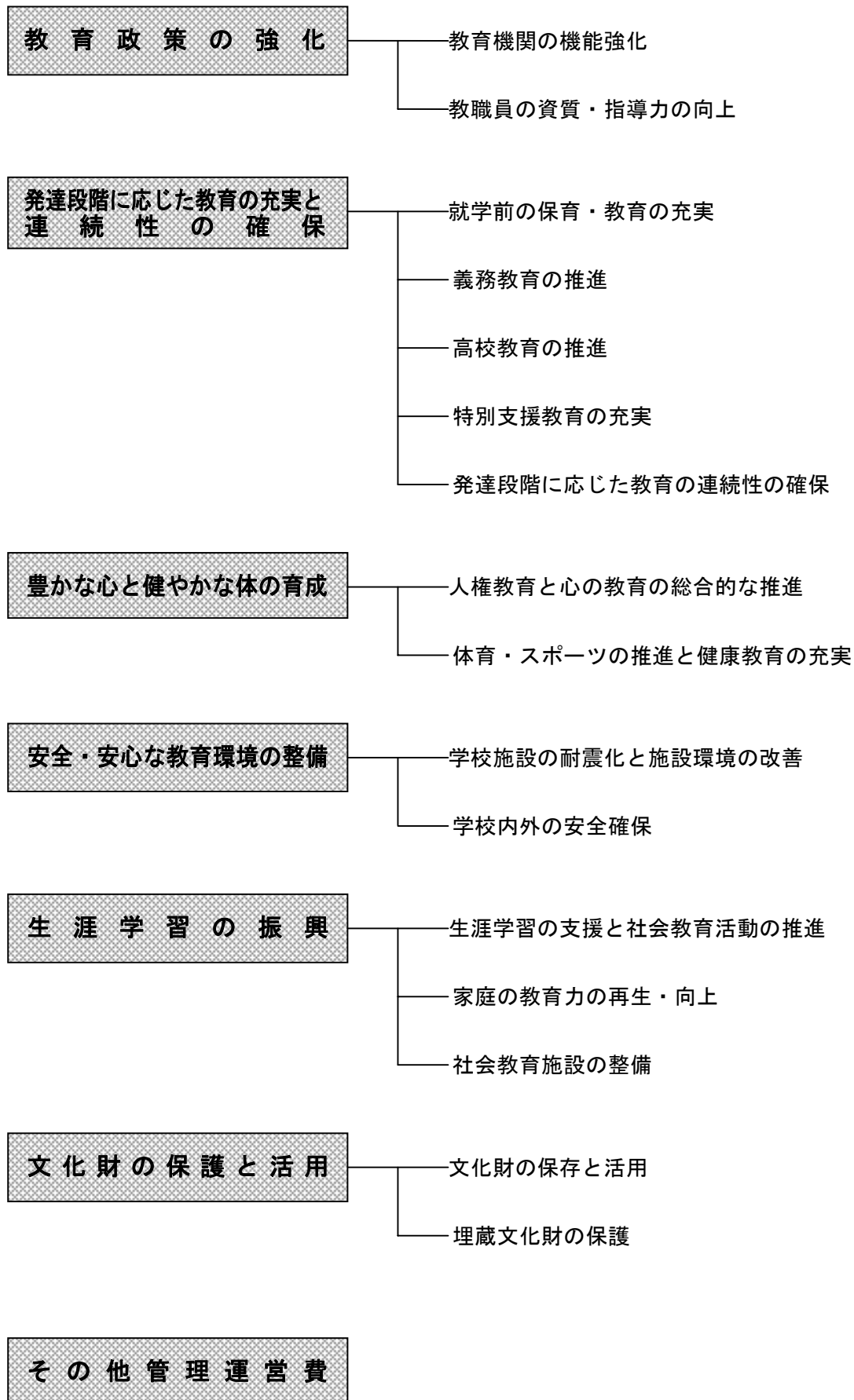
高等学校等奨学金特別会計

平成20年度予算見積額	471,198 千円
平成19年度当初予算額	520,271 千円
差引増減額	-49,073 千円
対前年度比率	90.6 %

土地取得事業特別会計

平成20年度予算見積額	11,819 千円
平成19年度当初予算額	571,204 千円
差引増減額	-559,385 千円
対前年度比率	2.1 %

平成 20 年度教育委員会施策体系表



平成20年度予算見積説明資料

I 重点的に取り組むべき政策課題への対応

平成19年度全国学力・学習状況調査において、中学校の学力が全国平均を大きく下回っていたという結果を受け、19年度から授業改善など重点的に取り組んでいる中学校問題の解決に向けた対策を更に深め、集中的に中学校への支援を行います。

また、地方分権の流れの中で、教育課題の背景の複雑化や少子化・過疎化に対応するため、市町村教育委員会の広域化や小中学校の再編、学校組織の見直しなど教育を支える新しい仕組みづくりに重点的に取り組みます。

【重点施策体系表】

集中的な中学校支援	
1 学校における組織的取組の確立	
① 学校組織の見直し 部活動のあり方、校務分掌の適正化・新たな職の設置の検討	
② 人事管理の工夫改善 学校組織が機能する採用・登用の工夫改善	
2 教科経営への支援	
① 学力の定着状況の把握と徹底した対応 到達度把握・授業評価システムを活用した課題克服、小中学校の連携の強化	
② 教科の枠を超えた授業力の向上（基本型の蓄積・普及） 教科経営研修の充実、教科指導の専門性を高めるための教師塾、 中学1年生への学習ガイダンスの強化、学力改善推進モデル校での実践研究	
③ 教科の特性に応じた指導方法の工夫改善 中学校数学授業改善プロジェクト事業による数学科教員の授業力の向上、 学力改善推進モデル校での実践研究、教科指導の専門性を高めるための教師塾	
④ 指導主事等による集中的な学校支援 各ブロック、各学校での校内研修への支援	
3 学級経営への支援	
① 仲間づくりへの支援 学級経営研修の充実、子どもの実態に基づく対応方法の構築、ピア・サポート活動の推進	
② 思春期の子どもたちへの対応の支援 思春期対応ノウハウの研修の強化、 教育相談体制の充実（スクールカウンセラーの配置等）	
4 学習環境づくりへの支援	
① 教員の子どもと向き合う時間の拡充 少人数学級の拡大、学校組織の見直しによる校務分掌の適正化、地域のスポーツ人材の活用、 教員の負担軽減に関する調査研究、メンタルヘルスへの対応	
② 保護者との協働 学校・家庭・地域つながり再生事業（保護者、地域住民等による学校支援）、 開かれた学校づくりの充実、学校評価システム（外部評価）の実践・普及	
③ 学習意欲の向上への支援 家庭学習時間の確保、キャリア教育の強化	
④ 県教育委員会による集中的な中学校支援	
教育を支える仕組みづくり	
教育機関の機能強化	
市町村教育委員会の広域化や小中学校の再編への支援、教育振興基本計画の策定、 教育委員会の活動の自己点検・評価	

II 予算見積の概要

【H19 当初→H20 予算見積】

教育政策の強化

当面する教育課題の根本的な解決を図るため、中長期的な視点に立った教育政策を立案する能力を高めるとともに、地域の実態に応じた教育行政を推進するための専門性の確保に向け、市町村教育委員会の体制強化の取り組みを支援します。

また、子どもたちの心身の発達に関わり、その人格形成に大きな影響を与える教員の資質・指導力の向上に取り組みます。

1 教育機関の機能強化

◆ 教育機関の機能強化

【4,579千円→4,531千円】

教育課題の背景が複雑化し、少子高齢化が進行する中で、これまでの教育サービスを確保し、子どもたちの未来を保障していく観点から、教育機関の機能の強化を支援します。

また、教育基本法の改正やそれに基づく教育3法の改正を踏まえ、新しい教育の仕組みづくりに対応していきます。

- ・ 市町村教育委員会の広域化への支援
- ・ 小・中学校再編への支援
- ・ 教育振興基本計画の策定

2 教職員の資質・指導力の向上

◆ 教職員の資質・指導力の向上

【37,625千円→35,288千円】

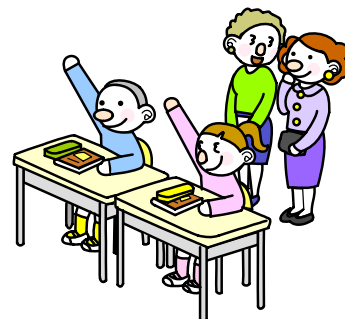
様々な教育課題に迅速に対応できるよう、学校組織の見直しを進めるとともに、平成21年度から導入される教員免許更新制への準備を行います。

また、採用や登用審査の工夫・改善を進めるとともに、人事評価システムを充実させ、やりがいのある職場環境の整備に取り組みます。

発達段階に応じた教育の充実と連続性の確保

発達段階に応じ、子どもたちの個性や能力に応じた指導方法の工夫・改善や教育内容の充実に努めます。

また、就学前から高校卒業段階までの教育の連続性を確保するため、学校種間の連携の強化と子どもや教職員の交流を推進します。



1 就学前の保育・教育の充実

◆ より質の高い保育・教育の推進

【6,612千円→5,425千円】

幼稚園・保育所等で、より質の高い保育・教育が実施されるよう、保育士・幼稚園教員の資質・専門性の向上を図る取り組みを支援します。

◆ 認定こども園・認可外保育施設・私立幼稚園への支援

【50,175千円→137,780千円】

認可保育所で担いきれていない保育サービスを補完するため、認定こども園（私立）や認可外保育施設、私立幼稚園に助成を行い、待機児童の解消や仕事と家庭の両立ができる環境づくりをします。



◆ 保育サービス・子育て支援推進総合補助金

【32,000千円→25,000千円】

市町村が策定した次世代育成支援対策行動計画を円滑に推進するため、地域のニーズに応じた保育サービスや子育て支援の充実に向けた取り組みを支援します。

◆ 子育てバックアップ推進事業

【2,607千円→2,733千円】

地域子育て支援センター・幼稚園・保育所等に子育て支援アドバイザーを派遣します。

また、携帯電話・パソコンを利用した胎児期からの情報提供や相談事業を行い、安心して出産・子育てができるよう支援します。

2 義務教育の推進

◆ 学力改善推進モデル事業

【0千円→10,000千円】

全国学力・学習状況調査の結果分析から明らかになった課題を解決するために、「学校改善支援プラン」に基づく研究を行う学校を支援します。

◆ 確かな学力を使えるための授業力向上普及・啓発事業

【0千円→5,000千円】

各教科の中核となる教員が、教科指導の専門性を高める指導方法を研究し、他の教員にその成果を広めることにより、県内全体の教員の授業力の向上に努めます。

また、学校長のリーダーシップのもと、組織的・実践的に校内研修を行っている県内外の学校の先進事例を広く県内に普及・啓発します。



- ◆ 中学校数学授業改善プロジェクト事業 【1,049 千円→1,059 千円】

課題となっている中学校の数学の学力向上を図るため、3年計画（H19～21年度）で県内すべての数学科教員の授業力向上のための研修を行います。

- ◆ 到達度把握・授業評価システムの活用 【10,278 千円→9,562 千円】

子どもたち一人ひとりの学習内容の到達度や学習・生活意識調査の結果をもとに、そのつまずきの解消に向け、授業評価システムを活用することで、徹底した基礎学力の定着に努めます。

- ◆ 少人数学級の拡大

子どもたち一人ひとりが、学校集団にスムーズに適応し、学ぶ楽しさを実感し、基本的な学習習慣や基礎的な学力を身につけることができるよう、小学校4年生までの少人数学級編制を継続します。

また、中学校の30人学級の研究校を拡大し、少人数学級編制の取り組みを引き続き実施します。

- ・ 小学1・2年生：30人学級編制
- ・ 小学3・4年生：35人学級編制
- ・ 中学校：30人学級編制研究校の拡大



- ◆ 教育課程推進費 【127 千円→1,892 千円】

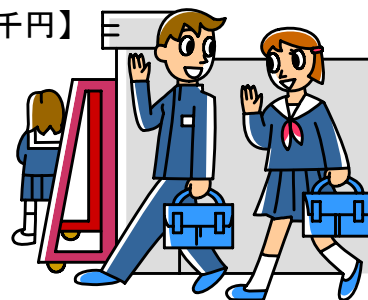
新しい学習指導要領のスムーズな導入を図るため、小・中学校長及び教員等に対して、改訂の趣旨を徹底するための説明会を開催します。

3 高校教育の推進

- ◆ 県立高等学校の再編の推進 【420 千円→3,514 千円】

高等学校教育の質の向上を図り、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、県立高等学校再編計画に基づき、県立高等学校の「特色ある学校づくり」と「適正な規模と配置」を進めます。

また、県立高等学校の統廃合による経済負担を軽減するため、激変緩和措置として遠距離通学に係る奨学金を貸与します。



- ◆ 学校長裁量予算 【47,497 千円→40,000 千円】

各県立高等学校の創意工夫による特色ある学校づくりを促進します。

- ◆ 開かれた学校づくりの推進 【316 千円→324 千円】

地域の住民や保護者が学校の運営に参加する学校運営協議会によるコミュニティースクールの取り組みを進め、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら、連携・協力して、地域全体の教育力を高めることができる環境づくりを進めます。

◆ 高校生の就職対策 【20,225 千円→19,571 千円】

厳しい就職環境が続く中、面接指導や就職のアドバイスを行うとともに、就職の心構えや社会人としてのマナーなどの講習会を実施し、高校生の就職を支援します。

また、保護者を対象とした進路講演会を開催し、家庭と学校が協力して就職対策に取り組む体制づくりを進めます。



◆ 高等学校等奨学金の貸与 【520,271 千円→471,198 千円】

子どもたちが経済的な理由で進学・修学を断念することがないように、奨学金を貸与し、学ぶ意欲のある子どもたちを支援します。

4 特別支援教育の充実

◆ 特別支援教育プロジェクト事業 【2,970 千円→3,270 千円】

小学校・中学校・高等学校等の通常の学級に在籍する発達障害を含む障害のある幼児・児童生徒への理解や専門的な対応を行うため、校内支援体制の整備を促進します。

また、医療・保健・福祉の関係機関と連携した就学前から学校卒業後までの一貫した相談支援体制の確立など、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を進めます。

◆ 進路指導の充実 【1,696 千円→1,446 千円】

生徒一人ひとりの円滑な社会参加を促すため、早い段階から主体的な進路選択の能力や職業意識を高め、職場見学や施設の利用体験、進路研修会、就労を目指した職場開拓や職場実習を実施します。

また、卒業後の生活に関し、企業や福祉などの関係機関と連携した支援を行います。

5 発達段階に応じた教育の連続性の確保

◆ 保幼小連携の推進 【660 千円→660 千円】

指定市町村において、就学前の教育と小学校教育の連携のあり方を研究し、小学校への滑らかな接続ができるよう支援します。



◆ 小中連携の取り組みの強化

〈文部科学省実施事業：小・中連携教育実践研究事業〉

中学校区の小中学校において、子どもたちの学習や生活に関する情報をもとに協議を進め、小学校から中学校へのスムーズな接続ができるよう支援します。

- ・ 到達度把握検査・学力調査等の有効活用
- ・ 授業交流の取り組みの推進

◆ 中高連携の取り組みの推進

【35,624千円→28,408千円】

中学校・高等学校の教職員の交流や継続性のある教育指導などを行うことにより、併設型・連携型中高一貫教育を推進します。

◆ 発達段階に応じたキャリア教育の推進

小学校低学年から高等学校まで「人間関係を築く力」、「働くことや仕事を理解する力」、「将来を設計する力」、「意思を決定する力」の4つの力を発達段階にあわせてバランスよく身に付けられるよう支援します。

- ・(小) キャリア教育実践プロジェクト事業
- ・(中) キャリア教育実践プロジェクト事業
- ・(高) インターンシップ、スキルアップ講座



豊かな心と健やかな体の育成

いじめ・不登校など、多様化・深刻化する課題を解決するため、人権意識をもった対応を行うとともに、人を尊重する心を育てる教育を進めます。

また、子どもたちの体力の向上や生涯を通じて運動に親しむ意識や能力の養成など、学校体育やスポーツ活動を推進するとともに、望ましい生活習慣づくりや自らの健康を維持・増進するための健康教育の充実を進めます。

1 人権教育と心の教育の総合的な推進

◆ 人権尊重を基盤とした学校づくり事業

【2,706千円→2,597千円】

人権教育の基盤に立ち、不登校やいじめを生じさせない学校をつくるため、人間関係づくりや社会性、コミュニケーション能力の育成など人と人をつなぐ力を育むための研究・実践を進めます。

◆ いじめ対策緊急支援総合事業

【0千円→2,667千円】

いじめ問題に対応するため子どもたちの適切な人間関係づくりやいじめ防止のための子どもたちの主体的な取り組みについて調査研究します。

◆ 生徒自主活動の推進

【1,060千円→654千円】

ピア・サポート活動の推進により、子ども同士や子どもたちと教員との温かい関係を構築し、より良い仲間づくりを進めます。

◆ 問題を抱える子ども等の自立支援

【25,000千円→37,253千円】

不登校の未然防止や早期発見・早期対応につながる効果的な取り組みについて、子どもの状況の把握や関係機関とのネットワークによる支援のあり方を、市町村とともに研究し、普及していきます。



- ◆ 不登校対策推進事業 【4,487 千円→3,207 千円】

家庭に引きこもりがちであったり、不登校が長期にわたっているような子どもたちに対し、市町村の教育支援センターや民間団体などとともに支援に取り組みます。

- ◆ スクールカウンセラー活用事業 【51,986 千円→60,447 千円】

子どもたちや保護者等の不安や悩みへのきめ細かな対応を行うため、スクールカウンセラーを配置し、学校における教育相談体制の充実を図ります。

2 体育・スポーツの推進と健康教育の充実

- ◆ 地域スポーツ人材の活用実践支援事業 【0 千円→3,282 千円】

児童生徒の体力が長期的な低下傾向にあることから、それぞれの発達段階に応じて、教員の指導を補助する地域のスポーツ人材の活用を支援します。

- ◆ 日本スポーツマスターズ2008高知大会の開催 【7,758 千円→40,579 千円】

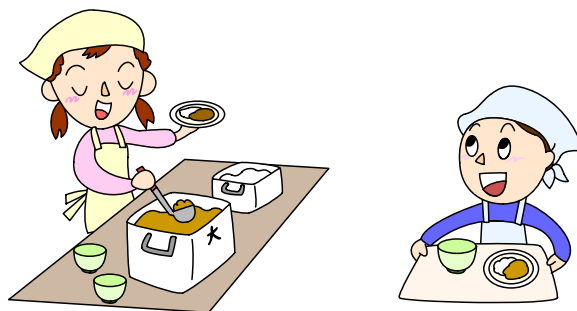
日本の三大スポーツイベントの1つである競技志向の高いシニア世代を対象とした日本スポーツマスターズを開催します。選手・監督をはじめ関係者の皆さんを温かく迎えるとともに地元との交流を図り、本県の良さを全国に発信できる大会とします。

- ◆ 北京オリンピック大会の事前合宿への対応 【0 千円→9,951 千円】

世界のトップアスリートの来高により、本県のスポーツのすそ野が広がり、またスポーツキャンプ地としての高知県をPRする機会となる北京オリンピック大会参加国の事前合宿の誘致に取り組みます。

- ◆ 子どもの健康を育む食育の推進 【7,467 千円 → 4,024 千円】

児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養教諭が中心となり、学校・家庭・地域がともに連携を図りながら、体験学習や地場産物の学校給食への活用を行い、食育の取り組みを推進します。



安全・安心な教育環境の整備

すべての子どもたちが、安全で質の高い空間で学び、生活できるよう、学校施設の耐震化をはじめ、教育施設の整備に取り組みます。

また、地域全体で子どもの安全を見守る体制を整備するための取り組みや安全教育と南海地震に備えた防災教育を推進します。

1 学校施設の耐震化と施設環境の改善

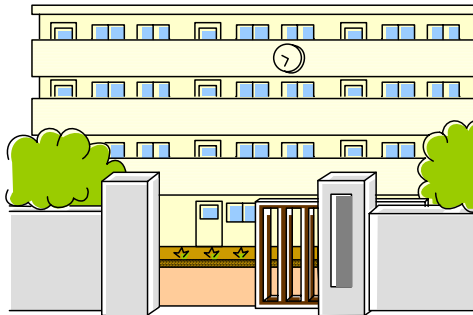
- ◆ 保育所・幼稚園の地震対策 【10,110千円→10,346千円】

保育所・幼稚園に通う乳幼児期の子どもたちの安全を確保するため、施設の耐震診断や耐震補強などの耐震対策を支援します。

- ◆ 学校施設の地震対策 【187,824千円→369,182千円】

子どもたちが一日の大半を過ごす県立学校施設の耐震診断を実施するとともに、耐震補強を行い、学校施設の耐震化を進めます。

また、市町村が実施する公立学校施設の耐震診断や耐震補強などの耐震対策を支援します。



2 学校内外の安全確保

- ◆ 防災・安全教育の推進 【34,330千円→28,664千円】

子どもたちの安全対策を進めるため、発達段階に応じた南海地震に備える防災教育や安全教育、学校長をはじめとする教職員などへの研修会を実施します。

また、スクールガード及びスクールガード・リーダーによる巡回・指導等、通学路の安全確保に向けた取り組みを進め、学校の危機管理や防災力の向上に努めます。



生涯学習の振興

生涯学習社会の実現をめざし、市町村や関係機関・団体と連携して学習機会の充実と指導者等の育成に取り組むとともに、家庭の教育力の再生・向上と地域の子育て支援のネットワークづくりを進めます。また、若者の学びなおしや社会的自立を支援します。

1 生涯学習の支援と社会教育活動の推進

- ◆ 若者の学びなおしと自立支援事業 【8,700千円→18,401千円】
義務教育終了後、就職・進学をしていない、あるいは、高等学校を中途退学した子ども、ニートや引きこもりがちな若者の社会的自立支援を行います。
- ◆ 学校・家庭・地域つながり再生事業 【2,140千円→2,414千円】
保幼小中高のPTAを中心に県民参加のもとで研究大会を実施し、教育的風土づくりを進めます。また、保護者の積極的な学校への関わりや地域の人材活用など、学校支援の体制づくりを支援するためにPTA活動の活性化に取り組みます。

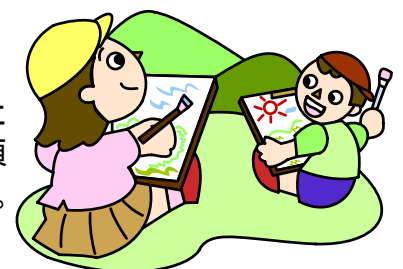
2 家庭の教育力の再生・向上

- ◆ 放課後子どもプラン推進事業 【163,992千円→179,732千円】
放課後に学校の余裕教室や地域の施設を利用して、適切な遊びや生活の場を提供するとともに、地域住民との交流により子どもたちの健やかな育ちを支援します。
- ◆ 子育て支援者ネットワーク推進事業 【2,536千円→1,043千円】
身近で子育てを支援する家庭教育サポーター等の地域単位での支援体制づくりを進めるとともに、学校、PTA、市町村等の「早ね早おき朝ごはん」運動の取り組みを支援します。

《文部科学省実施事業：地域における家庭教育支援基盤形成事業》

身近な地域において、家庭教育支援チームを創設し、学習機会や情報の提供、相談体制の充実をはじめとするきめ細かな家庭教育支援を行います。

- ◆ 幼少期における感動体験モデル事業 【0千円 →4,610千円】
幼少期（10歳頃まで）に多くの感動に出会い、想像力や創造力を培うため、青少年教育施設での自然体験プログラムや、NPO等の地域性・専門性を活かした文化・社会体験プログラムを親子対象に実施することにより、信頼関係の構築と豊かな心を育むための取り組みを行います。



3 社会教育施設の整備

◆ 図書館障がい者サービス事業

【1,352 千円→1,475 千円】

大活字本の購入や対面音訳サービスの充実を図るなど、利用者へのサービスの向上に取り組みます。また、県内全域を巡回している移動図書館バスを広告媒体として企業等に提供することで得た広告収入を障がい者サービスの充実のために活用します。

◆ 青少年教育施設主催事業

【2,985 千円→3,559 千円】

青少年に新たな「出会い」や「感動」を与えるきっかけづくりとして、豊かな自然のなかでの体験学習や交流活動等に取り組みます。また、芸西天文学習館の新しくなった天体望遠鏡を使った観望会の実施や学校教育での活用など、県民の科学的探求心や文化的学習を支援します。

文化財の保護と活用

文化財を保存して、次の世代に引き継ぐとともに、広く公開して、学校教育や生涯学習での活用を進めます。

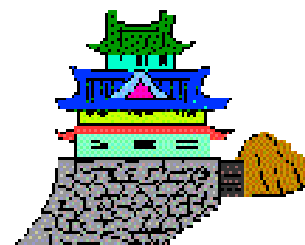
また、埋蔵文化財の保護に努めるとともに、遺跡の調査、記録、公表を行い、保護意識を醸成します。

1 文化財の保存と活用

◆ 高知城の保存・整備

【60,786 千円→71,702 千円】

高知城を計画的に整備するため、平成 21 年度までを事業期間として三ノ丸の石垣改修工事を行います。



◆ 歴史の道の整備・活用の推進

【4,000 千円→4,000 千円】

今後の保存・整備を図るうえでの基礎資料となる四国霊場八十八ヶ所のへんろ道やその道沿いに残されている文化遺産を総合的に調査します。

2 埋蔵文化財の保護

◆ 埋蔵文化財の活用、普及啓発

【3,764 千円→3,773 千円】

埋蔵文化財の出土品等の学校教育への活用をはじめ、埋蔵文化財センターでの企画展示や埋蔵文化財情報のインターネットでの公開を通じて、文化財保護の普及啓発に努めます。